

様式1

平成23年度 学校評価表

a ミッション	社会に貢献できる、知・徳・体の調和のとれた心身ともにたくましい人間を育成する。	aビジョン ○生徒一人一人がふるさとを愛し、夢や志を持って、生き生きと活動する学校 ○確かな学力と豊かな心、健やかな体を育てていく学校 ○保護者や地域から信頼される学校	尾道市立生口中学校
---------	---	--	-----------

評価計画				自己評価				学校関係者評価			改善計画			
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	基礎・基本の学力の定着	・小テスト、繰り返し学習の実施 ・短学活でのドリル学習の実施	県基礎基本定着状況調査で通過率60%以上の生徒の割合が80%を上回る。 (昨年国語93.3%数学73.3%英語73.3%)	80	国語100% 数学84.6% 英語100%					基礎学力の定着状況を確認するために、県の基礎基本定着状況調査と同様の問題を12月に実施した。1、2年とも前年度の点数と比較して下回っており、学力の定着は不十分である。	2		・楽しくわかる授業になっているかどうかを生徒の受け止め方を把握しながら、チェックしていくべきだと思う。 ・授業でわからないことを質問できる環境を工夫してもらいたい。	・継続して授業モデルに基づく授業改善の推進 ・授業に対する生徒質問紙調査の実施。
		家庭学習の習慣化	・復習を徹底する自学ノート提出 ・各教科定期的課題の出題	2時間以上家庭学習をした生徒の割合	60	37%	15.0%	25	D	2時間以上の生徒が15%と大幅に減少した。自学ノートや課題の提出も3~5%減少している。やりきらせる指導ができていない。	3		・テスト期間中に課題提出が集中し、それに追われる状態は果たしてよいのだろうか。きめ細かなチェックの点でも、一考をお願いしたい。少人数の良さを生かして、一人一人にあった課題を自ら進んでできるようにしていただきたい。	・相互授業参観や模擬授業の実施 ・個別指導の場と時間の確保 ・家庭学習の手引きの改善
	言語活動の充実	・朝読の実施 ・読み聞かせの実施	月2冊以上本を読む生徒の割合	60	53.5%	40.0%	66.7	C	月に1冊以上本を読む生徒の割合であるが、7月に比べて3%減で大きな変化はない。朝読や読み聞かせに対する肯定的評価が減少しているのが課題である。	3		・文武両道で部活動と同様に学習面もがんばってほしい。 ・魅力的な図書室づくりに努めていただきたい。	・生活リズムについての個別指導の実施 ・図書委員会の活動の充実	
		・作文、感想文の実施 ・新聞切り抜きコンテストの実施	出品に取り組んだ生徒の割合	70	95.3%	100%	100	A	読書感想文は全員が取組んだ。新聞切り抜きコンテストは、昨年と比較して丁寧な作品が多く、多数の作品を応募した。	2	1			
	学び合いのある授業の創造	・授業モデルに沿った授業研究の実施	肯定的評価をする生徒の割合 全国学力学習状況調査で全国平均を上回る	90 全国平均	生徒67.6% 実習者64.7%	57.3% 参考者の数値を上回った	63.7	100	A	「目で聴く」「先生は工夫している」「理解できる」で数値が大幅に低下している。参考数値(全道12万人の平均)と比較すると、国語A・B数学A・Bともに上回った。	2	1		
豊かな心の育成	基本的な生活習慣の確立	生徒会によるあいさつ運動	あいさつができる生徒の割合	100	92.7%	82.9%	82.9	B	9.8ポイント減少した。特に1年生は、できる、だいたいできるが76.9%と低い。課題を自覚させ、自分で努力させる必要がある。	3		・全体的に評価が下がっていることをきちんと受け止めてほしい。 ・きめ細かな生活実態調査の実施	・生徒指導規程の周知と徹底	
		生徒会による生活点検の実施	違反のない生徒の割合	100	95.1%	80.5%	80.5	B	前回と比較して、1・3年が20ポイントも減少した。違反している生徒への指導が課題である。	3		・行事などに対する生徒の熱意やキビキビした姿を取り戻していただきたい。生徒が評価しているほど、達成感は感じられなかった。工夫が必要だと思う。	・生徒会による改善策の立案と実行 ・体験活動の実施に向けた準備や段取りの工夫・改善	
	体験活動の充実	縦割りでの活動 ・掃除 ・球技大会	進んで参加できた生徒の割合	100	97.6%	82.9%	82.9	B	全学年ともに約15ポイント減少した。縦割りの目的を理解し、上級生への適切な指導が課題である。	3		・文化祭での職員合唱がよかった。先生方が一丸となっている姿は、子どもたちの鑑になると思います。	・体験活動における生徒一人一人の役割の明確化と自己肯定感の醸成	
		・職場体験学習の充実 ・体育大会の充実 ・文化祭の充実	体験活動に達成感を感じた生徒の割合	100	100%	95.2%	90.2%	95.1	B	行事に一生懸命取り組み、概ね達成感を感じている。「とても達成感を感じた」と答える生徒を増やそうと、行事のねらいを明確にし、計画的に進める必要がある。	1	1	・あいさつの声小さくなったと思う。	
健やかな体の育成	健康や基礎的運動能力の育成を図る教育活動の推進	持久力の向上	放課後の12分間を活用した持久走の実施	積極的に参加できた生徒の割合	90	92.7%	86.5%	96.1	B	2学期以降、3年生がほとんど実施できていないので、3年生の評価が低かった。ただ走るだけでなく、目標を持たせたので、自分で走り方を工夫をするような指導を入れていく必要がある。	3		・生口中伝統の12分間走。子どもたちと先生が競い合う中で、様々な好影響を及ぼしてきた。子どもたちは、まだまだ本気を出していないと思う。	・意欲を高めるための評価の工夫 ・新体力テストのデータの活用
		部活動の活性化	部活動への積極的な参加	部活動に満足した生徒の割合	90	95.1%	84.6%	94	B	部活動への全員参加体制が崩れて、評価も下がっている。部活動へ参加しない、参加できない生徒への対応が不十分である。	3		・朝練(部活動)は生徒まかせにせず、指導者がつく中で、意欲を高めていってほしい。	・保護者・地域との連携や個別指導 ・生活実態調査の調査回数の増い
		健康安全教育の推進	・月1回の保健だより発行 ・月1回の安全点検の実施	「早寝、早起き、朝ごはん」ができていない生徒の割合 安全点検実施率	90 100	85.4% 100%	76.2% 100%	84.7 100	B A	1年(57.1%)2年(92.3%)3年(80.0%)で、1年生の肯定的評価が低く、前回と比較して下がっている。	3			
信頼される学校	地域に信頼される学校づくりの推進	学校情報の発信	・月1回のホームページ更新 ・月1回の学校だよりの発行 ・週1回の学年だよりの発行	各たよりを読んでいる保護者の割合	80	48.0%	82.3%	100	A	ホームページの更新は不十分である。各たよりを通して、学校の様子を把握している保護者が82.3%と向上したが、保護者への配布物を確実に渡している生徒は、68.3%で遅れている。	3		・学校評価に関わる情報発信の回数を増やしても良いのではない。 ・学校統合を見据えた地域・保護者との協働による信頼感の向上	・学校統合を見据えた地域・保護者との協働による信頼感の向上
		授業参観へ積極的な保護者参加	授業参観した保護者の割合	80	69.0%	70.0%	87.5	B	遠慮の地域公開への参加者が少なかった。参加率を平均すると70%である。	3		・学校や地域の活動にあまり関心を持たない保護者が増えてきたのも原因だと思う。保護者も一緒に参加して、盛り上げていかなければならない。	・生徒会を中心とした呼びかけ	
	ふるさと意識の向上	・地域行事への積極的な参加 ・ボランティア活動への参加	地域行事への参加生徒の割合 ボランティア活動への参加生徒の割合	90 90	12.2%	77.5% 65.0%	86.1 72.2	B C	生徒会を中心に参加の呼びかけを行っていたが、不十分であった。	3		・生徒会が中心となってボランティア活動にしっかり参加したらよいと思う。		

【自己評価 評価】
A: 100% (目標達成)
C: 60% (もう少し) < 80
B: 80% (ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。 ハ: わからない。